

日本体育測定評価学会 第19回大会日程

【大会第1日目】

時間	A会場 1階 K110 講義室	ポスター会場 2階 K220 演習室	その他会場
8:30~ 9:30			1階ロビー 受付
9:20~ 9:30	開会式		1階 共同利用 SPACE 企業展示 図書販売 EVホール クローク 2階 K230 講義室 休憩室
9:40~10:40	口頭発表 セッション 01		
10:45~11:40	口頭発表 セッション 02		
11:50~12:30	総会		
12:30~13:30	昼休み・休憩		
13:30~14:20	口頭発表 セッション 03		
14:25~15:05	口頭発表 セッション 04		
15:15~16:15		ポスター発表 PA1, PB1	
16:15~17:15		ポスター発表 PA2, PB2	

【大会第2日目】

時間	A会場 1階 K110 講義室	ポスター会場 2階 K220 演習室	その他会場
9:00~ 9:30			1階ロビー 受付
9:30~12:00	シンポジウム (公開)		1階 共同利用 SPACE 企業展示 図書販売 EVホール クローク 2階 K230 講義室 休憩室
12:10~12:30	閉会式 優秀発表表彰式		

日本体育測定評価学会 第19回大会 プログラム

第1日目：2月29日 一般研究発表

A会場 共用講義棟1階 K110 講義室

9:40~10:40 一般研究発表(口頭発表 セッション OA1)

座長 中谷 敏昭 (天理大学)

O1-1	野球の投手における「パフォーマンスー環境相互による流れのモデル」の検討	橋本泰裕 (神戸医療福祉大学)
O1-2	バレーボールにおけるVRを用いたレセプション時のボール軌道を予測する能力の比較	沼田薫樹 (鹿屋体育大学大学院)
O1-3	バドミントン試合中のプレーヤーの足位置の分析	華山宣胤 (尚美学園大学)
O1-4	テニスのサービスにおけるスピード及び回転数ーIN・FAULT・ACEに着目してー	柏木涼吾 (鹿屋体育大学大学院)
O1-5	ロウイングエルゴメーターによる2000mTTタイムとWattbikeによる6秒間ピークパワーおよび3分間平均パワーの関係	川端悠 (大阪府大)

10:45~11:40 一般研究発表(口頭発表 セッション OA2)

座長 中田 征克 (防衛大学校)

O2-1	慢性腰痛患者における心理社会的評価と身体所見の関係	松田えりか (筑波技術大学)
O2-2	乳がん患者の体重変化とホルモン療法および身体活動量、食事摂取量との関連	奥松功基 (筑波大学)
O2-3	各年代における高血圧症、脂質異常症、および糖尿病の罹患状況ー福井県在住の男性に着目してー	山本銀平 (福井工業大学)
O2-4	スタティック(SS)およびダイナミックストレッチング(DS)が直後のスプリントおよび跳躍パフォーマンスに及ぼす影響	山田孝禎 (福井大学)

13:30~14:20 一般研究発表(口頭発表 セッション OA3)

座長 武藤 三千代 (日本医科大学)

O3-1	音楽に合わせた高強度運動における音楽テンポが生理指標および心理指標に及ぼす影響	土屋芽生 (法政大学)
O3-2	運動中の意識の違いが運動に伴う努力感覚と感情に与える影響	若田部舜 (法政大学)
O3-3	運動が苦手な子どもを対象にした運動集中プログラムが運動への意識に与える影響の継続性 —プログラム実施から一年後に着目して—	小島莉緒 (岐阜大学大学院)
O3-4	幼児の体力上位・下位群における認知機能特性の違い	南輝良々 (岐阜大学大学院)

14:25~15:05 一般研究発表(口頭発表 セッション OA3)

座長 佐藤 敏郎 (新潟医療福祉大学)

O4-1	小学生の教科嗜好における体育の相対的位置およびその加齢変化	野末拓夢 (岐阜大学大学院)
O4-2	出席不良指導歴を有する学生の特徴と出席不良傾向誘発要因の検討	佐藤 進 (金沢工業大学)
O4-3	シュートストップ失敗確率予測回帰式を用いた女子サッカー選手評価の検討 ～FIFA 女子ワールドカップ 2019 及び FIFA ワールドカップ 2018 を対象として～	平嶋裕輔 (筑波大学)

ポスター会場 共用講義棟 2階 K220 演習室

15:15~16:15 一般研究発表(ポスター発表 セッションPA1)

座長 涌井 佐和子 (順天堂大学)

PA1-1	高齢者における認知・判断・反応能力テストの評価基準作成にむけて～後期高齢者を対象として～	横谷智久 (福井工業大学)
PA1-2	異なる立ち座り動作を用いた Well-rounded exercise training が高齢者の下肢筋機能に及ぼす影響	中谷敏昭 (天理大学)
PA1-3	高齢者における下肢巧緻性と自動車運転事故およびヒヤリハット経験の関連性—筋調節能およびタイミングスキルに着目して—	立岡光臨 (筑波大学大学院)
PA1-4	軽度の定期的な運動が中高齢者の酸化ストレスと抗酸化力に及ぼす影響とその性差	松浦義昌 (大阪府立大学)
PA1-5	高強度インターバルと連続運動が反応時間, ストレスに及ぼす一過性効果	加藤雄一郎 (平成国際大学)
PA1-6	二次元気分尺度および唾液中ストレスマーカーによる運動遊びの評価—2種類の運動遊びの比較検討—	青木拓巳 (同志社大学大学院)
PA1-7	支持基底面積を基準とした有効支持基底面積の割合、および日間信頼性の検討	杉浦 宏季 (福井工業大学)
PA1-8	四肢の連続選択反応テストの試行間信頼性の検討	青木宏樹 (福井高専)
PA1-9	若年女性における開眼及び閉眼静止立位姿勢時の重心動揺変動	長澤吉則 (京都薬大)
PA1-10	簡易評価を用いた骨格筋量と最大筋力の予測 :大腿部と下腿部に関する比較研究	安田 智洋 (聖隷クリストファー大学)

15:15~16:15 一般研究発表(ポスター発表 セッションPB1)

座長 石原 一成 (福井県立大学)

PB1-1	幼児・児童期における高運動能力者の縦断的トラッキング推移に関する検証	小椋優作 (愛知工業大学大学院)
PB1-2	裸足保育により幼児の歩き方は変化するか?	松田繁樹 (滋賀大学)
PB1-3	幼児における魚釣り遊びを利用した Functional reach test の信頼性	内田 雄 (仁愛女子短期大学)
PB1-4	幼児用反復横跳びテストによる敏捷性の評価における留意点—測定値の分布の型、中心傾向代表指標、過大・過小評価の割合について—	村瀬智彦 (愛知大学)

PB1-5	各月の気象と幼児の午前中の中強度以上の身体活動時間(MVPA)との関係-2018年の1月から12月まで-	出村友寛 (仁愛大学)
PB1-6	日本人の子どもにおける Phase Angle の加齢変化構図の検証	早川健太郎 (名古屋経営短期大学)
PB1-7	中国少数民族における身長 MPV 年齢の地域的差異に関する検証-ベルクマンの法則の適用可能性を探る-	糟谷浩輔 (愛知工業大学)
PB1-8	標準 BMI 帯における体脂肪率変化と体力の関係構図-男子の解析-	田中望 (東海学園大学)
PB1-9	ヒトのプロポーションにおける黄金比の適用可能性	武山祐樹 (愛知工業大学大学院)
PB1-10	人の身体プロポーション変化の解析	藤井勝紀 (愛知工業大学)

ポスター会場 共用講義棟 2 階 K220 演習室

16:15~17:15 一般研究発表(ポスター発表 セッションPA2)

座長 佐藤 進 (金沢工業大学)

PA2-1	対戦型スポーツの攻撃力・守備力構造分析	稲垣 敦 (大分県立看護科学大学)
PA2-2	カーリングデリバリーフォームの選手間類似度	小林秀紹 (札幌国際大学)
PA2-3	CNN と粒子スムーザによるスポーツ映像のトラッキング	松本 実 (国立スポーツ科学センター)
PA2-4	ソフトテニスの新技術測定法(2分間ラリー法)における性差と競技レベル別比較~中学生・高校生を対象として~	高橋憲司 (愛知学泉大)
PA2-5	テニスのグラウンドストローク評価テストの開発	高橋仁大 (鹿屋体育大学)
PA2-6	競泳選手の足関節底屈筋力および足指把握筋力の特性	中田征克 (防衛大学校)
PA2-7	温度変化に伴う表在感覚の違いがスイミングパフォーマンスに及ぼす影響	松田佑貴子 (福井大学)
PA2-8	姿勢条件の違いがカヤック競技のスタート局面における漕パワー発揮におよぼす影響	野口雄慶 (福井工業大学)
PA2-9	男子中学生における反復横跳と伸張-短縮サイクル動作遂行能力との関係	寺田和史 (天理大学)
PA2-10	伸張-短縮サイクル(SSC)を伴う跳躍動作の主観的調整発揮の検討~各方向(上・前・後)への跳躍に着目して~	北林 保 (東京理科大学)

16:15~17:15 一般研究発表(ポスター発表 セッションPB2)

座長 林 容市 (法政大学)

PB2-1	小学生におけるラダー運動の成就度と体力・運動能力との関係	宮口和義 (石川県立大学)
PB2-2	小学生の学力と体力および生活習慣との関係	大坪健太 (岐阜大学大学院)
PB2-3	中学生の運動部活動と学力の関連	古田真太郎 (岐阜大学大学院)
PB2-4	女子中学生の運動・スポーツに対する嫌悪感における項目間の関連	濱口あずさ (岐阜大学大学院)
PB2-5	高校時座位活動量と大学初年次精神的健康度の関係は大学入学時体力水準により完全に媒介される —男子大学生を対象とする階層的重回帰を用いた媒介分析 2—	内山応信 (秋田県立大学)
PB2-6	男子大学生の体力, 学業, 形態と生活状況との関係	佐藤敏郎 (新潟医療福祉大学)
PB2-7	A 県消防学校初任科生の体力・運動能力	酒井俊郎 (中部大学)
PB2-8	カンボジアシェムリアップ州の子どもたちにおけるラジオ体操による健康づくり	武藤三千代 (日本医科大学)
PB2-9	身体活動記録による運動習慣支援事業の効果 —リピーターと新規参加者の比較—	山次俊介 (福井大学)
PB2-10	シャッターゴーグルによる一過性の視覚情報制限下のレセプション練習が直後のレセプションパフォーマンスに及ぼす影響	村上孝輔 (福井大学)

第2日目：3月1日 公開シンポジウム

A会場 共用講義棟1階 K110 講義室

9:30～12:00 公開シンポジウム

テーマ：選手のモチベーションにデータはどのように活かせるか？

座長 小林 秀紹（札幌国際大学）

S-1	フィジカルトレーニングに対して選手をモチベートする	越田 専太郎 (了徳寺大学)
S-2	アスリートである女性をモチベートする 女子柔道選手をサポートした経験から	池田 未里 (日本スポーツ振興センター)
S-3	プロスポーツクラブの現場から －海外プロクラブと日本実業団の実態－	銘苅 淳 (日本ハンドボールリーグ 北陸電力ブルーサンダー 選手兼コーチ)

ご 案 内

【参加者の方へ】

1. 学会会場は福井大学文京キャンパス**共用講義棟**です。
2. 参加費
会 員： 3,000 円（当日申込の場合 4,000 円）
学 生： 1,000 円（事前・当日支払いにかかわらず）
非会員： 5,000 円
学会大会に参加することで、健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新に必要な単位の取得ができます（3単位）。学会発表者（筆頭・共同研究者）については本人の申請に基づき、さらに2単位が付与されます。
3. 受付は1階ロビーで1日目8時30分から、2日目9時から行います。
4. 会場ではネームカードを着用してください。
5. クロークは1階EVホールです。休憩室は2階K230講義室です。

【一般口頭発表の方へ】

1. 一般演題の発表時間は9分、質疑3分です。座長の指示に従って指定された時間内でのご発表をお願いいたします。発表開始8分後に予鈴1回、9分後に本鈴2回、12分後に終鈴3回を鳴らします。
2. 発表はPC発表（Power Point）のみとなります。スライドでの発表は受け付けませんので、ご注意ください。Power Pointで作られる原稿のフォントサイズはなるべく大きめ（24ポイント以上）をお使いください。
3. 会場設置のPCのOSはWindows10でPower Point2016がインストールされています。ファイルをUSBメモリーなどに入れてお持ちください。ご自身の発表セッション前に会場設置のPCにて試写の確認をお願いします。なお、発表者のPC利用を希望する場合は会場担当者に申し出てください。会場プロジェクターのモニター端子はミニD-Sub15ピンです。HDMIやMini DisplayPortなどミニD-Sub15ピン以外の場合は、変換コネクタをご持参ください。
4. 発表時のPC操作はご自身でお願いいたしますので、試写時にご確認ください。

【ポスター発表の方へ】

1. ポスター発表では2分間の概要説明と2分間の質疑の時間を設けます。座長の指示に従って、指定された時間内でのご発表、質疑応答をお願いいたします。なお、全ての発表時間が就労した後、発表会場でのフリーディスカッションの時間を設けます。発表者はポスターセッション開始5分前までに各自のポスター前に集合してください。
2. ポスター貼付用の展示ボードは、横100cm×縦180cmです。展示ボードへの貼り付けは学会大会事務局で準備する画鋏を使用してください。
3. ポスターの掲示は2月29日13時までに行ってください。撤去は発表終了後速やかに行ってください。2月29日17時以降に撤去していない場合には大会事務局にて処分させていただきます。

【座長の方へ】

1. 座長の方は各セッション開始15分前までに座長受付をお済ませください。
2. 口頭発表座長の方はセッション開始10分前までに次座長席にご着席ください。
3. 討論の方法は座長一任とします。時間厳守をお願いします。

【健康運動指導士・健康運動実践指導者の皆様へ】

本学会大会（開催2日間）に参加することにより、健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新単位として3単位を取得できます（認定番号：206090）。

参加される方は、「登録番号」記載の「健康運動指導士証」または「健康運動実践指導者証」とネームカードをお持ちの上、受講終了後に受付にて手続きをお願いいたします。その他、学会発表者（筆頭・共同研究者）の追加認定単位（2単位）については、本人の申請により、さらに2単位が付与されます。申請方法などの詳細は、認定財団のHPなどでご確認ください。